

上毛三山：裏妙義 木戸壁右カンテ

- ◆日程 2023年10月8日(日)
- ◆メンバー L: TY、SDK、OB
- ◆天候 晴れ

10月3連休、谷川の岩企画(東尾根、一ノ倉中央陵)をTYさんが企画してくれていたが、日本海側の山脈を中心とする雪予報、谷川も雪がついていて危ないだろうとのことで転進することになり、前回前日の雨の影響で行けなかった妙義の木戸壁右カンテへ行くことになった。

早朝にSDKさんが車でピックアップして下さり、登山口となる旧国民宿舎へ向かう。駐車場に着くとすでに何台かの車があり、ここからそれぞれ岩場やハイキングへと向かうようだった。

国民宿舎から40分ほど歩くとすでに取りついている先行者も登山道から見え、あ、ここだねと登山道を少しそれて取りつきに到着した。

先行で2パーティーほど登っていて、さすが初心者向けで人気のルートだ。夏はヒルが出ると噂のルートだが、ここ数日涼しくなったせいかヒルの気配はない。その代わりに度々ハチが飛んできて、少し怖かった。毎度動かず離れて行ってくれることを祈りやり過ごした。

前のパーティーが登っている間に準備を整える。全6ピッチ、前半はTYさんのリード・後半をOBがリードすることになった。妙義特有のぼこぼこした岩肌で手も足も豊富にある。前日に練習していた幕岩ではもっと小さいスタンスのルートも登っていた筈だが、高度感のせいか、どうにも怖くてかなり慎重に登った。TYさんもSDKさんも、ここは登りやすいねと言いながらスイスイ登っていて流石だ。もっと場数を踏んで慣れていく必要があるそうだ。

3ピッチを上り終わると、松の木テラスと呼ばれるテラスにでて、3人がなんとか立てるくらいの広さもあるのでここでリードを交代する。怖いならやめておくか?と聞いていただいたが、やらないと慣れないし、と腹を括った。3ピッチ目は数か所ハングを乗り越えるところもあり、かなりドキドキしたが手足はしっかりあったので、それを信じで登る。腹を括ったせいか、最初の1ピッチ目よりは怖さも薄れた気がした。途中、追い越しがあるよーとの声掛けがあり、ビレイの準備をしながら待っていると、なんとロープ無しで登るソロクライマーが!!!マジか!!!!と大いに驚いた。世の中には凄い人たちがたくさん居る。。。

その後5、6ピッチは連結し、終了点まで到着。懸垂下降はすこし順番待ちをした。前のパーティーがシングルロープ(多分50メートル)1本で、降りたい支点までロープが微妙に足りず、苦戦している様子だった。我々は1回目で松の木テラスまで、2回目で1ピッチ終了点まで(微妙に取りつきには届かず!)、3回目で取りつきまで降り、無事に登攀を終えることができた。

ジムで沢山練習してもやっぱり外岩とは全然違って、外岩は外岩で経験を積んでいくことが必要だと改めて感じた1日だった。SDKさん、TYさん、ありがとうございました。

(記:OB)

CT:駐車場7:30 - 木戸壁右カンテ9:00/13:00 - 駐車場14:00

